

# 会 議 録

- 1 名 称 第4回「(仮称)北九州市DX推進計画」策定に関する懇話会
- 2 議 題 等 「(仮称)北九州市DX推進計画」素案について
- 3 開催日時 令和3年10月7日(木) 13時00分～14時30分
- 4 開催場所 北九州市役所本庁舎11階およびオンライン(Web会議)
- 5 出席した者(構成員)の氏名
- |       |       |          |
|-------|-------|----------|
| 遠藤 直人 | 遠藤 禎幸 | 隈本 覚(座長) |
| 郷田 郁子 | 重永 酉子 | 勢一 智子    |

## 6 経過(構成員発言内容)

### 【事務局説明】

- (1) 計画素案について説明

### 【構成員意見】

- 管理者のDXへの理解は重要。また、トップダウンではなく職員の自主性を高めることが大事。
- モデル部署を作り成功事例を横展開させるなどの方が、プロジェクトが進みやすい。
- デジタル・デバインド対策は、すべての人がデジタル機器を使えるようにするのではなく、使えない人のサポートをすることも大切。
- マイナンバーカードの普及について、何のために必要か、わかりやすく周知することが大切。
- 5年間で社会も技術も大きく変わる可能性がある。各論に基づき、スピード感を持って取り組む必要がある。
- 若い世代に、10年後、20年後の市役所の姿や、どのように仕事をしていくのかをしっかりと見せることは重要。
- DXは、先例主義やマニュアル主義を抜本的に見直すことが必要。
- 部局横断的に、若い職員に、気づきや問題意識を持てる場を作ることが大事である。
- パブリックコメントの他に、庁内において意見募集を行うこともよいと思う。
- 数値目標を達成するだけでなく、目標を達成することで、どのように業務を変えたいかを念頭に置いて目標設定することが大切。

## 7 用語集

○DX（デジタルトランスフォーメーション）<sup>[1][2]</sup>

ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること。

## 8 問い合わせ先

デジタル市役所推進室 デジタル市役所推進課

電話番号 093-582-3557